

3 産業関係

(1) 栃木県の輸出入動向

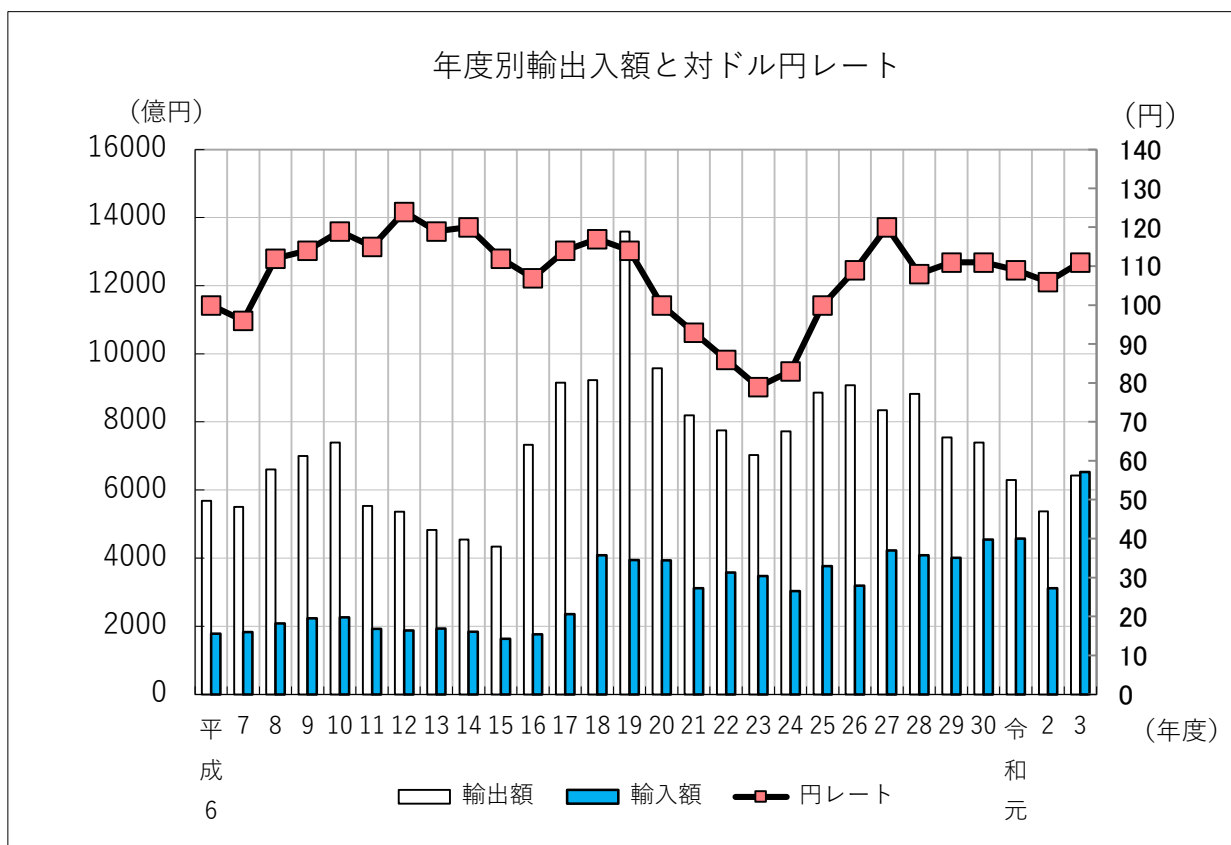
※令和3(2021)年度栃木県国際経済交流調査

年度別輸出入額と対ドル円レート

年度	輸出額 (百万円)	輸入額 (百万円)	円レート (円)
平成6	567,710	177,900	100
7	550,050	182,637	96
8	659,921	208,439	112
9	699,789	223,158	114
10	739,265	226,185	119
11	553,076	192,272	115
12	535,893	187,011	124
13	482,136	193,146	119
14	453,984	183,381	120
15	433,452	162,520	112
16	732,149	176,437	107
17	915,197	234,947	114
18	922,188	408,121	117
19	1,358,407	394,168	114

年度	輸出額 (百万円)	輸入額 (百万円)	円レート (円)
20	957,194	393,136	100
21	818,902	311,128	93
22	775,230	357,634	86
23	702,110	347,278	79
24	772,376	303,441	83
25	885,991	375,876	100
26	907,406	319,681	109
27	834,233	422,662	120
28	881,978	408,481	108
29	754,590	400,525	111
30	739,408	454,239	111
令和元	629,267	456,987	109
2	536,985	311,247	106
3	641,912	652,826	111

対ドル円レート:財務省貿易統計の外国為替相場(年平均レート)



※1 調査方法 インターネットおよび郵送によるアンケート調査

2 調査対象期間 令和2(2020)年4月1日から令和3(2021)年3月31日までの1年間

3 回収率 52.1%(調査対象は県内に立地する事業所1,000社、うち回答521社)

(2) 栃木県の外国人宿泊者数 国・地域別順位

○平成29年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	44,018人	19.9%
2	中国（大陸）	22,688人	10.2%
3	米国	18,163人	8.2%
4	タイ	14,813人	6.7%
5	香港	13,167人	5.9%
	その他	108,778人	49.1%
	計	221,627人	100.0%

○平成30年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	52,025人	23.3%
2	中国（大陸）	32,889人	14.8%
3	米国	18,559人	8.3%
4	韓国	14,887人	6.7%
5	タイ	13,641人	6.1%
	その他	90,903人	40.8%
	計	222,904人	100.0%

○令和元年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	台湾	48,918人	19.8%
2	中国（大陸）	36,303人	14.7%
3	タイ	18,306人	7.4%
4	香港	13,576人	5.5%
5	韓国	11,159人	4.5%
	その他	118,916人	48.1%
	計	247,178人	100.0%

○令和2年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	中国（大陸）	6,820人	16.8%
2	台湾	6,395人	15.8%
3	タイ	3,423人	8.5%
4	米国	2,829人	7.0%
5	香港	2,138人	5.3%
	その他	18,875人	46.6%
	計	40,480人	100.0%

○令和3年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	中国（大陸）	2,931人	17.4%
2	米国	1,774人	10.6%
3	ベトナム	1,689人	10.0%
4	韓国	1,182人	7.0%
5	インドネシア	1,054人	6.3%
	その他	8,180人	48.7%
	計	16,810人	100.0%

○令和4年

順位	国・地域	延べ宿泊者数	割合
1	米国	5,276人	11.5%
2	ベトナム	3,267人	7.1%
3	台湾	3,246人	7.1%
4	タイ	3,206人	7.0%
5	中国（大陸）	2,825人	6.2%
	その他	27,976人	61.1%
	計	45,796人	100.0%

※出典 栃木県観光客入込数・宿泊数推定調査

令和4(2022)年度 栃木県産農産物の輸出実績について

令和5(2023)年6月16日 農政部経済流通課

- 令和4(2022)年度の栃木県産農産物の輸出額は、2年連続で過去最高を更新し、5億5,982万円(前年度比105%)となった。
- 牛肉は、主要輸出先国での経済回復や日本食への関心の高まりなどのニーズを捉えた積極的な販売により過去最高となった。
- なし及びいちごは、産地と輸出事業者が連携し輸出向けに十分な出荷量が確保できたほか、知事トップセールスを契機とした現地バイヤーに対する積極的な販促活動により輸出額が増加した。特になしは、4,000万円を突破し過去最高となった。

※加工食品を含めた「農産物及び加工食品の輸出実績」については、令和6年2月に公表予定。

1 輸出額

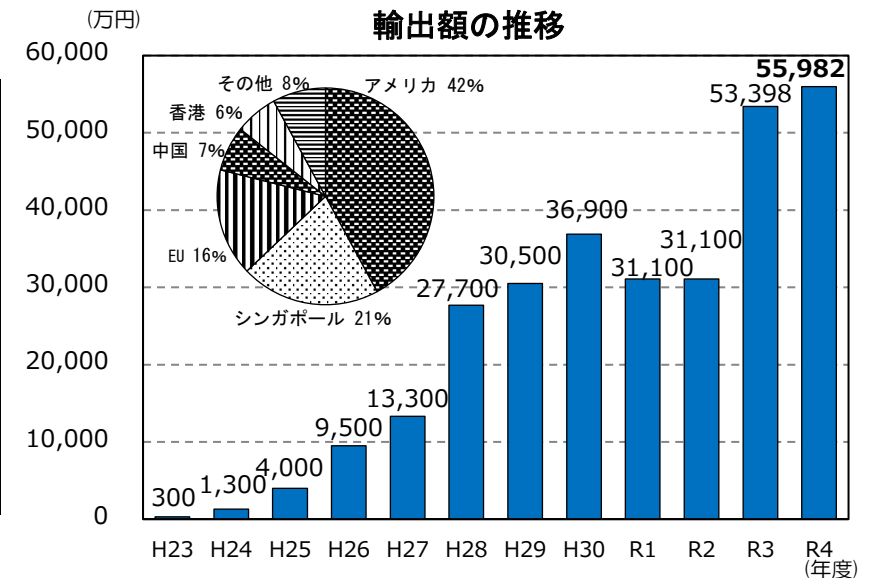
5億5,982万円(前年度比105%)

2 主な輸出品目の内訳

品目	輸出額(前年度比)	割合	主な輸出先(上位国・地域)
牛肉	3億3,704万円(106%)	60.2%	アメリカ、シンガポール、EU
花き	1億814万円(122%)	19.0%	EU、中国、アメリカ
なし	4,278万円(142%)	7.6%	タイ、香港、インドネシア
コメ	2,513万円(35%)	4.5%	アメリカ、香港、シンガポール
いちご	2,480万円(130%)	4.4%	マレーシア、香港、シンガポール
その他	2,192万円	4.2%	香港、アメリカ

◆牛肉、花き、なしは過去最高

※表中の数字は四捨五入による端数調整をしていないため内訳と計は必ずしも一致しない。



3 令和5年度の主な取組

県産農産物輸出額目標10億円(令和7年度)に向けて、以下に取り組めます。

- 輸出に取り組む生産者の輸出ステップに応じて、専門家派遣や輸出事業者とのマッチングなどを支援します。
- 輸出促進員や輸出支援員を設置するほか、国が認定する品目団体への加入やプロモーションへの参加など体制強化を図ります。
- 輸出先国・地域の課題の分析や新たな販路の開拓など、戦略的に事業を展開することで販路拡大を図ります。